

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて

第三次判断基準への切替

# 2026トップランナー変圧器

2026年  
4月より

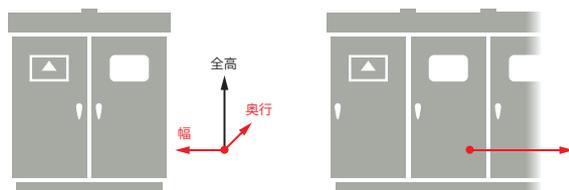
省エネ法により、新たな省エネ基準を満たした  
高効率変圧器への更新が推奨されます。



変圧器の価格は現行品の約2倍

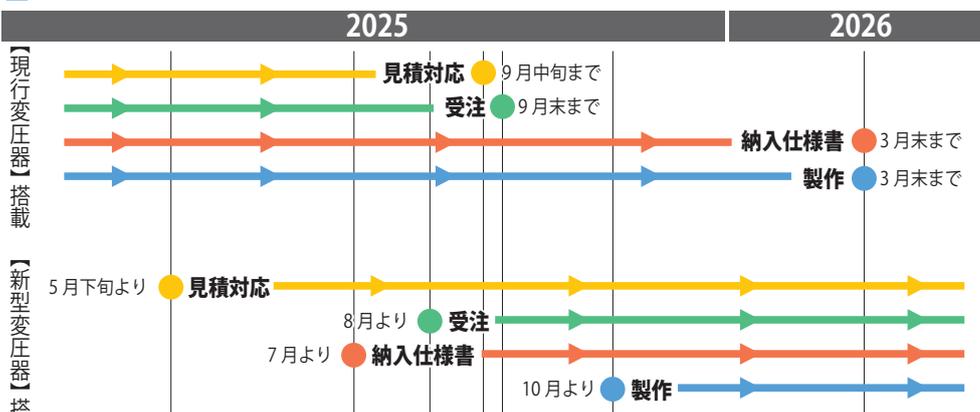


キュービクル外形寸法 **大** ※裏面参照



キュービクル函体数 **増**

## キュービクル切替スケジュール



※現行変圧器を搭載したキュービクルは2026年3月31日までの納品とさせていただきます。(受注停止：2025年9月30日)  
※変圧器メーカーの生産状況により切替スケジュールが変動する場合があります。

## 2026 トップランナーの省エネ効果

引用：(一社)日本電機工業会発行発行「トップランナー変圧器 第三次判断基準」



JIS C 4304(1981) ※2001年以前  
稼働台数：221万台(油入202万台 モールド19万台)

2001年以前の変圧器の稼働台数は57%を占め、新基準のトップランナー変圧器へのリプレースにより大きな省エネ効果が期待できる。



JIS C 4304(2005) ※第一次判断基準  
稼働台数：60万台(油入55万台 モールド5万台)

2019年度の変圧器の平均エネルギー消費効率(実績値)は501W/台  
第二次判断基準の制度導入前の同平均値(818W/台)との比較し、  
約38.7%の改善。

2026 トップランナーの目標基準値は444.1W/台と試算しており、  
2019年度の実績値に対し、さらに約11.4%の向上が見込まれる。

